

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	就職講座 I		担当教員	吉田 稔	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は前期のビジネス講座を基盤として、後期いよいよ就職活動に必要な、正しい履歴書の書き方や面接スキル向上を重点に就職対策を行います。自分をしっかり表現できる自己PR,志望動機などを段階的に整理をして履歴書やエントリーシートをしっかりと記述できるようにモチベーションを上げていきます。						
評価方法	成績評価	期末試験及び平常授業の取り組み姿勢、出席状況、提出課題の総合成績で評価する					
	評価割合	試験	60 %	課題	0 %	他	40 %
教科書	就職テキスト他			副教材および参考文献		映像資料(専門学校の就職ガイド)とプリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	就職活動の心構え①	就職活動そのものや働く意義や心構えを伝える
第2回	就職活動の心構え②	企業の求める人材。身だしなみのポイント
第3回	履歴書とエントリーポイント	履歴書、エントリーシートの書き方を解説する。
第4回	面接練習①	面接の重要さと種類の解説をする。PREP法。担任と共に面接
第5回	面接練習②	面接ロールプレイ
第6回	履歴書記入と写真撮影(予定)	履歴書記入と就職用写真の撮影
第7回	面接練習③	面接ロールプレイ 以降2チームに分かれて面接練習
第8回	面接練習④	面接ロールプレイ
第9回	面接練習⑤	面接ロールプレイ
第10回	面接練習⑥	面接ロールプレイ
第11回	面接練習⑦	面接ロールプレイ
第12回	面接練習⑧	面接ロールプレイ
第13回	面接練習⑨	面接ロールプレイ
第14回	面接練習⑩	面接ロールプレイ
第15回	面接練習⑪	面接ロールプレイ
第16回	期末試験	

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	就職講座Ⅱ		担当教員	竹野谷 義彰	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	<p>・企業の就職選考試験として取り入れられているSPI(選抜試験の総称としてSPIという語を用いるが、実際の試験は様々な問題が存在)試験対策を行う。SPIでは言語分野・非言語分野、一般常識では国語・社会・数学等の中から学習すべきポイントについて理解を深め知識の定着を図る。授業の中で、模擬テスト(性格検査・SPI3)を実施し、自分の理解度を確認して就職試験の本番までに突破できる力を養成すること目標とする。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	30 %	他	20 %
教科書	・「SPIクリア問題集」			副教材および参考文献		・プリント資料	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	・ガイダンス、性格検査	・ガイダンス、性格検査(SPI3 PS-P)の実施(40分)
第2回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(仕事算)、国語(二語関係:6択)
第3回	・SPI3(性格検査解説)	・SPI3 PS-P返却と解説
第4回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(鶴亀算)、国語(二語関係:5択)
第5回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(損益算)、国語(語句の用法)
第6回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(速さ/時間/距離)、国語(語句の意味)
第7回	・SPI3模擬テスト	・SPI3 Type-R模擬試験
第8回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(場合の数)、国語(短文の穴埋め)
第9回	・SPI3 Type-R解説	・SPI3 Type-R返却と解説
第10回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(確率)、国語(文章整序)
第11回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(割引料金と精算)、国語(空欄補充)
第12回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(割合 / 割賦)、国語(長文読解)
第13回	・非言語分野(数学) / 言語分野(国語)	・数学(推論:順序)、国語(過去問)
第14回	・SPI3模擬テスト(別冊①)	・SPI3模擬テスト(別冊①)解答 / 解説
第15回	・SPI3模擬テスト(別冊②)	・SPI3模擬テスト(別冊②)の実施
第16回	・SPI3模擬テスト(別冊②)	・SPI3模擬テスト(別冊②)解答 / 解説

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	・面接指導ガイダンス	・面接ロープルプレイング:ガイダンス
第18回	・面接指導(1)	・身だしなみ/マナー等
第19回	・面接指導(2)	・入室/退室等、面接所作
第20回	・面接指導(3)	・集団面接ロープルプレイング:1回目
第21回	・面接指導(4)	・集団面接ロープルプレイング:2回目
第22回	・面接指導(5)	・集団面接ロープルプレイング:3回目
第23回	・面接指導(6)	・集団面接ロープルプレイング:4回目
第24回	・面接指導(7)	・集団面接ロープルプレイング:5回目
第25回	・面接指導(8)	・集団面接ロープルプレイング:6回目
第26回	・面接指導(9)	・集団面接ロープルプレイング:7回目
第27回	・面接指導(10)	・個人面接ロープルプレイング:1回目
第28回	・面接指導(11)	・個人面接ロープルプレイング:2回目
第29回	・面接指導(12)	・個人面接ロープルプレイング:3回目
第30回	・面接指導(13)	・個人面接ロープルプレイング:4回目
第31回	・面接指導(14)	・個人面接ロープルプレイング:5回目
第32回	・期末試験	・期末試験の実施

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	IT技術		担当教員	佐藤 智	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	IT基礎はカリキュラムの入門レベルにあり、この後の講義で必要とされる基礎能力を身につける。IT領域の概要を説明し、学生はIT領域の考え方を身につけ始められるようになる。IT領域の学習で目指すプロフェッショナルとしての在り方を理解する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	%	他	20 %
教科書	オリジナル教材			副教材および参考文献			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンスと全体概要	授業の概要と目的/コンピューティング技術の歴史
第2回	ヒューマンインタラクション	コンピュータによるヒューマンインタラクションの変化
第3回	インターネットの歴史	IT社会でのコミュニケーションの変化
第4回	ITと産業の歴史	ITと製造業, 医療, 農業, 流通業, 教育などの変化
第5回	ITとビジネス	ITとビジネスや生活の変化
第6回	ITのグローバル化	ITと世界経済, 文化, 社会の変化
第7回	ITと社会	ITと社会(例 医療)の変化とそのリスク, 恩恵
第8回	ITシステムの技術要素	ITシステムにおける技術要素とその相互関係
第9回	ITシステムの複雑性	ITシステムにおける複雑性の問題
第10回	データと情報	データと情報の違い, ITシステムでの重要性
第11回	情報管理	情報爆発時代における情報管理
第12回	情報通信技術	情報通信技術について
第13回	情報セキュリティ	情報セキュリティについて
第14回	期末試験対策	重要事項のまとめ
第15回	期末試験	期末試験の実施
第16回	期末試験振り返り	期末試験の解説とおさらい

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	情報処理試験対策講座		担当教員	佐藤 智	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	2021年4月に実施される基本情報処理試験、及び応用情報処理試験合格を目指し、主に過去問の演習と解説を行い、合格に近づける。 基本情報の資格取得者は応用情報対策とし、資格未取得者は基本情報対策とする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	%	他	20 %
教科書	基本情報技術者午前問題集			副教材および参考文献		基本情報技術者試験過去問題 応用情報技術者試験過去問題	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ハードウェア	過去問演習 ハードウェア
第2回	ハードウェア	過去問演習 ハードウェア
第3回	ハードウェア	過去問演習 ハードウェア
第4回	情報処理システム	過去問演習 情報処理システム
第5回	情報処理システム	過去問演習 情報処理システム
第6回	情報処理システム	過去問演習 情報処理システム
第7回	ソフトウェア	過去問演習 データベース
第8回	ソフトウェア	過去問演習 データベース
第9回	ソフトウェア	過去問演習 データベース
第10回	データベース	過去問演習 データベース
第11回	データベース	過去問演習 データベース
第12回	データベース	過去問演習 データベース
第13回	ネットワーク	過去問演習 ネットワーク
第14回	ネットワーク	過去問演習 ネットワーク
第15回	ネットワーク	過去問演習 ネットワーク
第16回	セキュリティ	過去問演習 セキュリティ

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	セキュリティ	過去問演習 セキュリティ
第18回	セキュリティ	過去問演習 セキュリティ
第19回	データ構造とアルゴリズム	過去問演習 データ構造とアルゴリズム
第20回	データ構造とアルゴリズム	過去問演習 データ構造とアルゴリズム
第21回	データ構造とアルゴリズム	過去問演習 データ構造とアルゴリズム
第22回	ストラテジ	過去問演習 ストラテジ
第23回	ストラテジ	過去問演習 ストラテジ
第24回	ストラテジ	過去問演習 ストラテジ
第25回	開発技術	過去問演習 開発技術
第26回	開発技術	過去問演習 開発技術
第27回	開発技術	過去問演習 開発技術
第28回	マネジメント	過去問演習 マネジメント
第29回	マネジメント	過去問演習 マネジメント
第30回	マネジメント	過去問演習 マネジメント
第31回	期末試験対策	総復習
第32回	期末試験	期末試験の実施

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	Javaフレームワーク		担当教員	渡部元樹	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	JavaのフレームワークであるSpringFrameworkを主に扱う。 フレームワークの考え方や、使い方について知識を深める事、技術力を高める事を目的とし、 講義でのインプット、演習でのアウトプットを繰り返す行う。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。 ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	30 %	他	10 %
教科書	オリジナル教材			副教材および参考文献		オリジナル教材	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンス、環境構築	科目ガイダンスと開発環境の構築を行う。
第2回	前期の内容振り返り	前期の内容を振り返る
第3回	制作実習①	簡易ショッピングサイトの作成（設計）
第4回	制作実習②	簡易ショッピングサイトの作成（開発）
第5回	制作実習③	簡易ショッピングサイトの作成（開発）
第6回	制作実習④	簡易ショッピングサイトの作成（レビュー）
第7回	チーム制作実習①	本格的なショッピングサイトの作成(設計・役割決め)
第8回	チーム制作実習②	本格的なショッピングサイトの作成(開発)
第9回	チーム制作実習③	本格的なショッピングサイトの作成(開発)
第10回	チーム制作実習④	本格的なショッピングサイトの作成(開発)
第11回	チーム制作実習⑤	本格的なショッピングサイトの作成(テスト)
第12回	チーム制作実習⑥	本格的なショッピングサイトの作成(発表・レビュー)
第13回	チーム制作実習⑦	本格的なショッピングサイトの作成(発表・レビュー)
第14回	後期学習内容振り返り	制作実習で要点となったポイントの振り返り
第15回	期末試験	期末試験を実施
第16回	期末試験振り返り	期末試験の解説

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	C言語応用演習		担当教員	竹野谷 義彰	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・この科目は、C++を習得するに当たって、DXLibを使用し、当該環境下でアルゴリズムを向上させることを目指す。 ・DXLibを使用することで、卒業制作のテーマ選択の開発環境の幅を広げる。 						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	・なし			副教材および参考文献		・副教材プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	環境整備／概要説明
第2回	PG:DXLibとは	概要、環境設定、ライブラリ説明
第3回	内部プレゼン	企画のプレゼン
第4回	図形／画像表示	基礎図形の描画／変更、文字列の表示／変更
第5回	プロトタイプとは	プロトタイプの制作について
第6回	図形／画像移動処理	キー入力制御、ループ制御処理、画像移動
第7回	制作スケジュール	制作スケジュールと進行について
第8回	プロトタイプの制作	部品作成、実行と検証
第9回	各キャラクタの作成／表示	自機／敵キャラクタの作成と移動処理
第10回	プロトタイプの制作	部品作成、実行と検証
第11回	敵キャラクタの複数化	敵キャラクタの配列による複数制御
第12回	プロトタイプの制作	部品作成、実行と検証
第13回	弾の生成	弾の作成と移動処理
第14回	当たり判定処理	当たり判定アルゴリズムと表示切替処理
第15回	プロトタイプの制作	部品作成、実行と検証
第16回	期末試験	期末試験実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	UI演習		担当教員	日比野 越百	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	システムを制作する上で欠かせないユーザインターフェース。UIを構築する上で必要となるアクセシビリティとユーザビリティを知り、どのようなUIが利用者にとって分かり易く、使い易いものなのかを紐解いてゆく。本科目ではHTMLとCSSを用いて実際に組む事で、UIの良し悪しを判断出来る様になる。ECサイトを想定したUIを課題として取り組んでいく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	90 %	他	10 %
教科書	なし			副教材および参考文献		オリジナルPPT	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業内容の確認。
第2回	ユーザインターフェース	ユーザインターフェースとはどういったものかを知る。
第3回	サイトの分析1	実在するサイトの良し悪しをチームでディスカッションする。
第4回	サイトの分析2	ディスカッションした内容をまとめる。
第5回	サイトの分析3	まとめた内容を発表する。
第6回	アクセシビリティとユーザビリティ	アクセスのし易さとユーザにとっての使い易さを知る。
第7回	◆課題: サイトレビュー	実在するサイトをより良くするにはどうするかを考える。
第8回	└ 課題制作時間	改善点をまとめる。
第9回	フォームとは	WebサイトにおけるUIを学ぶ。
第10回	フォーム部品1	UIの中に含まれる入力欄や送信ボタンなどの部品を知る。
第11回	フォーム部品2	UIの中に含まれるセレクトボックスなどの部品を知る。
第12回	◆課題: ECサイト	ECサイトを想定したページを作成する。
第13回	└ 課題制作時間	商品選択のページを作成。
第14回	└ 課題制作時間	ユーザ情報のページを作成。
第15回	└ 課題制作時間	サンクスページの作成。
第16回	└ 講評、バッファ	完成した作品のフィードバックを行う。

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	Access演習(MOS)	担当教員	本郷 英明	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	
					単位数	2

授業概要	この科目では、Accessデータベースを基にMOS Access 2016に合格することを目指す。過去問から出題傾向を分析し、出題される可能性が高いと思われる問題からなる模擬問題を用意し、様々な問題に挑戦することで実力を養い、合格レベルまでのスキルを習得させる。					
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。				
	評価割合	試験	80 %	課題	10 %	他
教科書	MOS Access 2016			副教材および参考文献	なし	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	MOS Access2016の概要	学習の進め方、出題範囲、機器の設定
第2回	データベースの作成と管理①	1作成と変更 2削除 3インポート
第3回	データベースの作成と管理②	1リレーションシップとキー 2参照整合性
第4回	データベースの作成と管理③	1ナビゲーション 2オブジェクトビュー
第5回	データベースの作成と管理④	1データベースの圧縮、修復 2バックアップからの復元
第6回	データベースの作成と管理⑤	1データを印刷 2エクスポート 3テンプレート保存
第7回	テーブルの作成①	1テーブルの作成 2データのインポート 3リンクテーブル
第8回	テーブルの作成②	1フィールドの追加 2データ型の変更 3既定値の設定
第9回	テーブルの作成③	1フィールドの非表示 2集計行の追加 3テーブルの編集
第10回	テーブルの作成④	1レコードの追加・更新・削除 2データの検索 3並び替え
第11回	クエリの作成①	1クエリの作成 2アクションクエリ 3クロス集計
第12回	クエリの作成②	1クエリの変更 2フィールドの追加・削除 3書式設定
第13回	クエリの作成③	1算術演算子 2集計フィールド 3グループ化
第14回	フォームの作成①	1フォームの作成 2テンプレートからの作成
第15回	フォームの作成②	1コントロールの移動・削除・追加 2プロパティの設定
第16回	フォームの作成③	1タブオーダーの設定 2ヘッダー・フッターの設定

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	フォームの作成④	1画像の設定 2背景の設定 3印刷設定
第18回	レポートの作成①	1レポートの作成 2デザインビュー 3ウィザード
第19回	レポートの作成②	1フィールドのグループ化 2コントロールの追加
第20回	レポートの作成③	1集計フィールド 2ヘッダー・フッター
第21回	レポートの作成④	1書式設定 2配置の調整 3レポートの変更
第22回	第1回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第23回	第2回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第24回	第3回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第25回	第4回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第26回	第5回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第27回	第6回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第28回	第7回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第29回	第8回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第30回	第9回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第31回	第10回 模擬試験	1模擬試験の実施 2 模擬試験の解説
第32回	MOS Access試験の受験	本番試験の実施

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	クラウド演習		担当教員	石濱 友裕	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<p>・本科目は、IoTやAIなどの先進分野で活用が進むクラウドコンピューティングを活用できるようにすることを目的として、演習課題を通じてクラウド技術の習得を行っていく</p> <p>・クラウドコンピューティングに関する基礎知識を講義形式で学習したうえで、演習を通じてクラウド上に開発環境を構築し、当該環境下で模擬開発を実施する</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	なし			副教材および参考文献		講義スライド	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス/クラウド基礎知識	授業概要説明/クラウドとは/クラウドサービスの種類
第2回	SaaS講義	SaaSとは/SaaSの事例紹介
第3回	SaaS演習	代表的なSaaSサービスを利用方法に関する演習
第4回	PaaS講義	PaaSとは/PaaSの事例紹介
第5回	PaaS演習	代表的なPaaSサービスを利用方法に関する演習
第6回	IaaS講義	IaaSとは/IaaSの事例紹介
第7回	IaaS演習	代表的なIaaSサービスを利用方法に関する演習
第8回	クラウド環境構築演習説明	パブリッククラウドとプライベートクラウド/OpenStackとは
第9回	クラウド環境構築演習1	Windows上で仮想マシンの起動
第10回	クラウド環境構築演習2	前回の続き
第11回	クラウド環境構築演習3	OpenStackを使ったクラウド上の仮想マシンの構築
第12回	クラウド環境構築演習4	OpenStackを使ったストレージ基盤の構築
第13回	クラウド環境構築演習5	OpenStackを使ったユーザ認証環境の構築
第14回	クラウド環境構築演習6	OpenStackを使った仮想ネットワーク環境の構築
第15回	クラウド環境での開発演習1	作成したクラウド環境を使用したプログラミング演習
第16回	期末テスト振り返り	期末テストの返却/問題の解説

2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	Python演習		担当教員	渡部元樹	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	AI分野をはじめとし、これまで以上に注目度が高まっているプログラミング言語「Python」を学習する。コーディングする時間を多く取り、アウトプットの数をこなして技術力を高めていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	30 %	他	10 %
教科書	オリジナル教材			副教材および 参考文献	オリジナル教材		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンス、環境構築	科目ガイダンスと開発環境の構築を行う。
第2回	変数の取り扱い	Pythonにおける変数の取り扱いについて学習する。
第3回	データ型について	データ型について学習する。1年時に学習したjavaとの違いを重点的に扱う
第4回	条件分岐・反復構造	条件分岐処理、反復構造の書き方について学習する。
第5回	特殊な反復構造	iterator、dictionaryの扱いについて学習する。
第6回	中間試験	プログラムを作成する上で必須となる書き方について試験
第7回	文字分析①	テキスト分析APIの利用方法について学習する。
第8回	文字分析②	テキスト分析のAPIを利用し簡易アプリを作成する。
第9回	文字分析③	テキスト分析のAPIを利用し簡易アプリを作成する。
第10回	文字分析④	テキスト分析のAPIを利用し簡易アプリを作成する。
第11回	画像認識①	画像認識APIの利用方法について学習する。
第12回	画像認識②	画像認識APIを利用し簡易アプリを作成する。
第13回	画像認識③	画像認識APIを利用し簡易アプリを作成する。
第14回	画像認識④	画像認識APIを利用し簡易アプリを作成する。
第15回	期末試験	期末試験を実施
第16回	期末試験振り返り	期末試験の解説